

(様式例)

令和4年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・タブレットの活用法を多様化できた。
- ・コロナ対策のために取り組んできた個別課題に生徒が慣れ、落ち着いて授業が受けられた。

(2) 課題

- ・個別課題が増え他者の様子を見ながら作業していた生徒が困っている様子が見受けられる。
- ・作業スペース、道具の置き場所など物理的に手狭になった。
- ・タブレットの準備（充電など）、机上が狭くなるなど気にすることが増えた。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第1学年	ものづくり、鑑賞活動について意欲的。特に意見交換が活発		
第2学年	おおむね意欲的ではだが、ワークシートなどの記述が得意ではない。 (発言は活発)	対象物をじっくり見ることで特徴をとらえ、用具を活かして描ける。	
第3学年	自主学習の定着が弱いこと、Web活用に難があり、課題に取り組む時間が足りない印象。動画や写真の撮影に意欲的で視覚伝達法に工夫が見られる。	単純化・強調で情報を整理し、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えることができた。	作業に見通しを持ち、資料や材料をそろえられる生徒が多い。提出物の提出率が高い。

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
タブレットの扱いに慣れている。試験に向けての勉強を習慣づけさせる必要はある。	調べたことや思いついたことを文章やイラストで記録しておくことが巧み。	意欲が高く、落ち着いている。グループ学習では発言者に偏りが見られる。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
既習事項を生かそうとする姿勢が見られる。反復学習に意欲的。	アイデアを言葉やスケッチで形にすることがあまり定着していない。参考資料を探すことは意欲的。	提出物を守ることは徐々に定着してきた。自主学習に意欲的に取り組む生徒の割合が増加した。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自主学習の定着が弱いこと、We b活用法に難があり、課題に取り組む時間が足りない印象。	模倣はできるがアレンジ力に乏しい。既習事項や他教科との関連付けが苦手。	動画や写真の撮影に関心が高く、意欲的。デジタルコンテンツが好き。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
語呂合わせやわかりやすい動画を紹介し、家庭でも自主的に学習に取り組めるようなコンテンツを見つけられるよう促していく。	アイデアスケッチやエスキースが制作にどのように生きたか振り返らせる。また形にできなかったアイデアを保管するためにクロッキー帳の活用を促す。	自分の作品について話したり、他者の作品を鑑賞する時間を確保する。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
課題によって座席の配置などを変え、取り組みやすく、目が届きやすいよう配慮する。	授業の導入やまとめで互いの学習成果を鑑賞し合う機会を増やす。その際、発表原稿を書かせたり、話す練習をする時間を確保したりする。	タブレットを活用し、授業外の時間を使って資料収集や調べ学習を行わせる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ためしがきやエスキースなどの時間を確保する。授業のねらいやポイントをくり返し示すことで自主学習に取り組みやすいように促す。	ワードツリーやマッピングなど制作に入る前の試行錯誤を十分に行わせる。	導入部で既習事項の振り返りを行うとともに主題との関連付けを考えさせる。